

名証 I R セミナーオンライン

# 個人投資家向け企業説明会

2022年2月14日

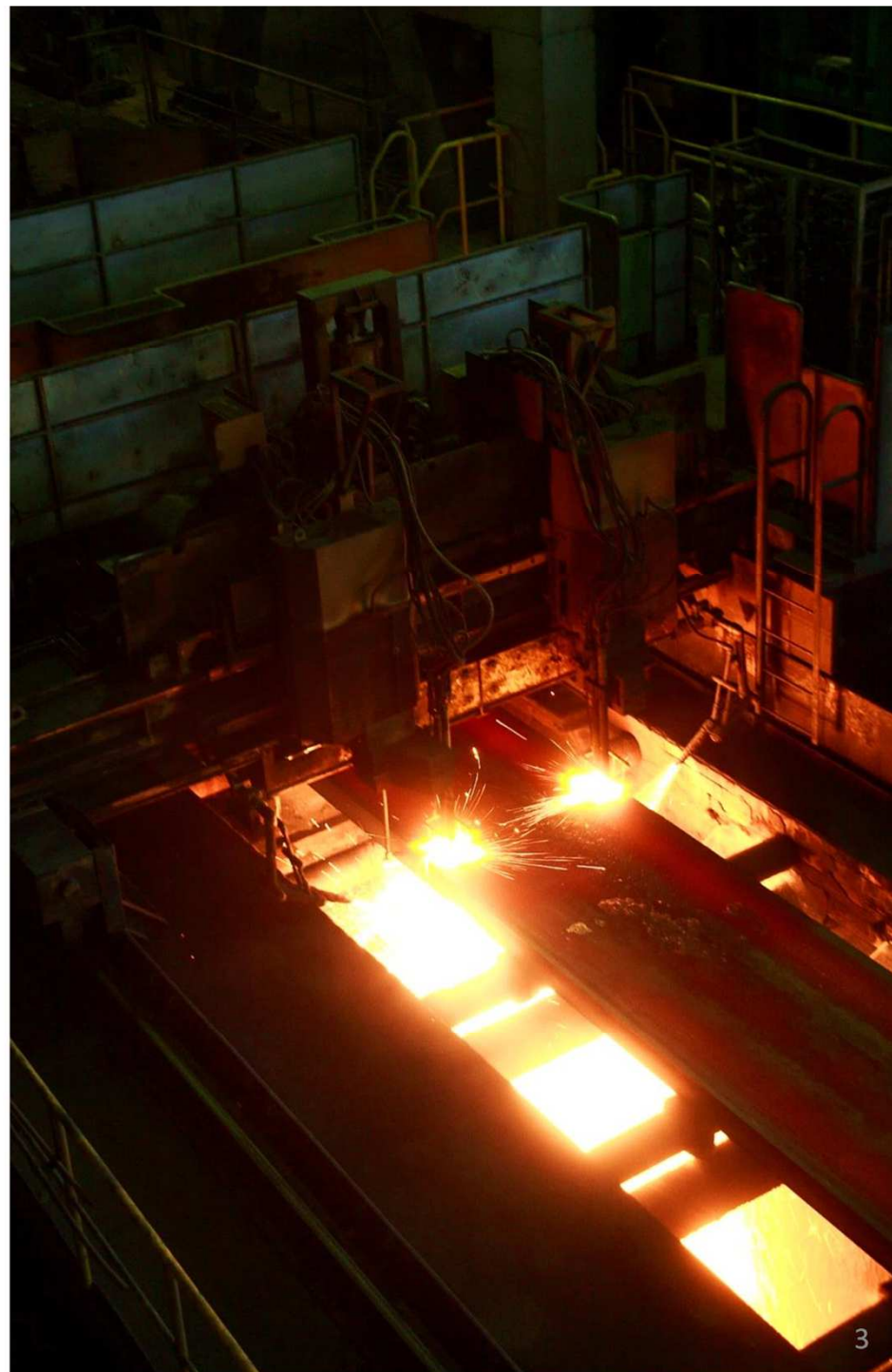


証券コード：5461

# 目次

1. 中部鋼板の概要
2. 中部鋼板の特色
3. 成長戦略・サステナビリティ課題への取組み
4. 経営実績および業績見通し
5. 株式情報

# 1 中部鋼板の概要



# 会社概要

社名	中部鋼板株式会社
業種	鉄鋼業(主に厚鋼板の製造販売)
設立年月日	1950(昭和25)年2月15日
本社所在地	愛知県名古屋市中川区小碓通5丁目1番地
資本金	59億700万円
代表者名	重松 久美男
上場取引所	名古屋証券取引所 第一部(証券コード 5461)
グループ会社	明德産業株式会社 シーケー商事株式会社 シーケークリーンアド株式会社 シーケー物流株式会社
従業員数	513名(連結：2021年3月末)



# 当社の製品と使用実績

## 厚板について



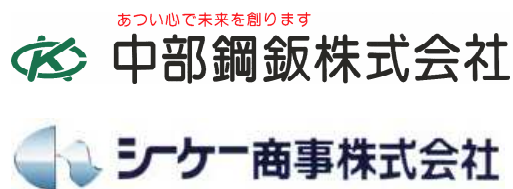
- ✓ 厚さ6 mm以上の板状の鉄鋼製品
- ✓ 需要分野は船舶、建築、土木、産業機械など幅広い
- ✓ 曲げ、切断、切削、溶接など様々に加工されるため、性能・品質に対する要求レベルは高い

## 当社材使用実績



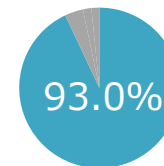
# 当社グループの事業概要

鉄鋼関連  
事業



厚鋼板の製造販売  
鋼板の加工  
鉄鋼原料・製品の仕入・販売

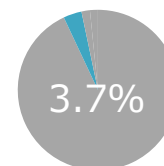
2020年度  
売上高構成比



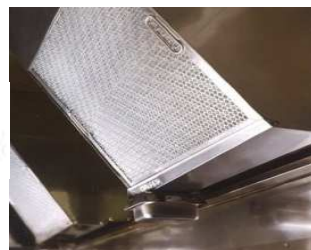
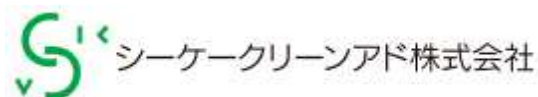
エンジニアリング  
事業



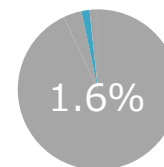
鉄鋼設備を中心とした生  
産設備等の設計、製作、  
据付、メンテナンス



レンタル  
事業



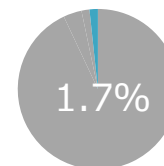
厨房用グリスフィルターの  
レンタル  
広告看板の制作

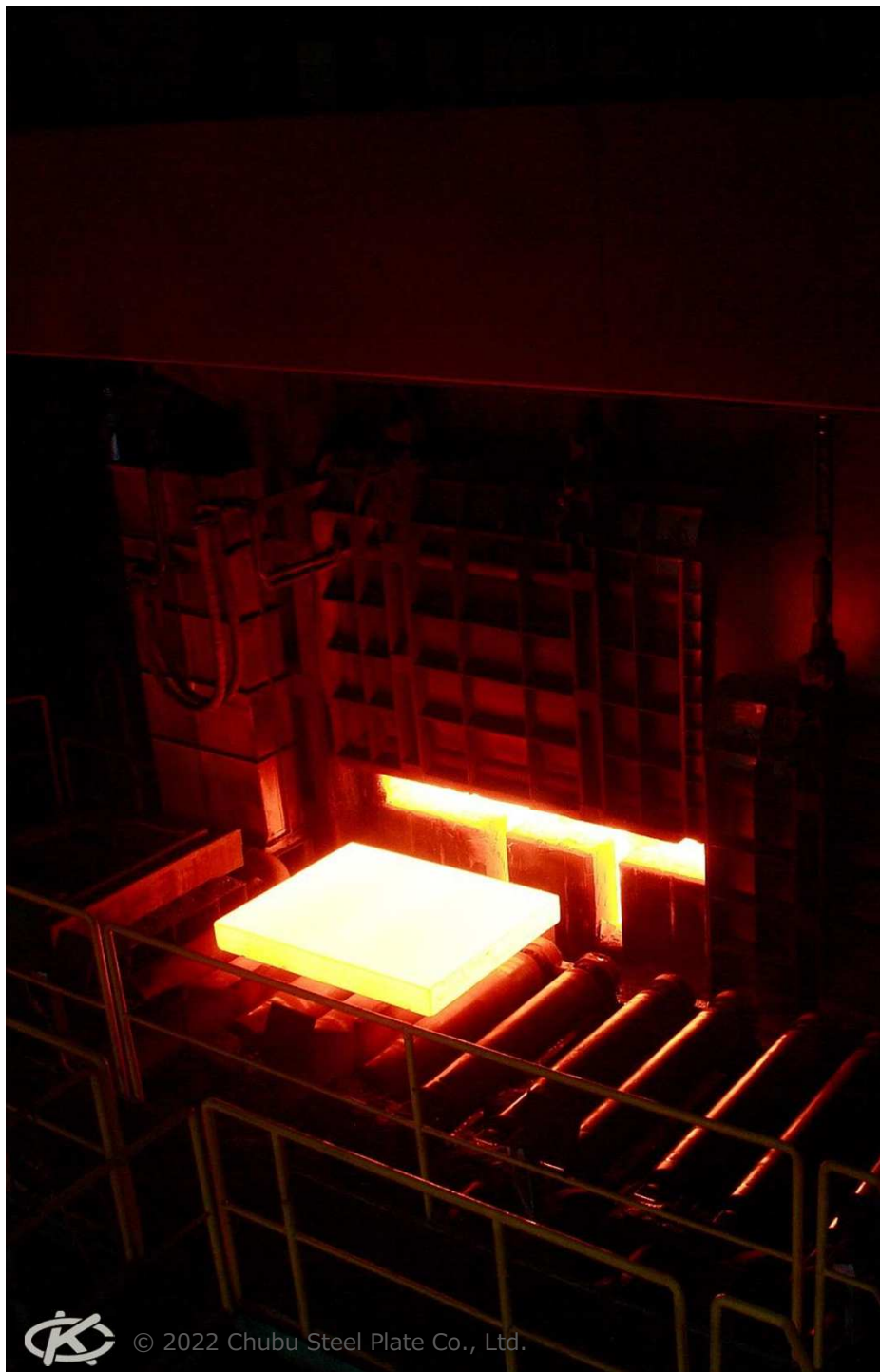


物流事業



危険物倉庫事業  
鋼板の荷役・運搬





## 中部鋼板の特色

# 2

# 製鉄方法の分類と特徴

	高炉(転炉)法 	電炉法 
主原料	鉄鉱石・コークス	鉄スクラップ
製造工程	鉄鉱石をコークスで溶解・還元	電気炉で鉄スクラップを溶解
特徴	設備が大規模で、一度火入れを行うと長期間の継続稼働が前提	設備は比較的小規模で、マーケット環境に応じて操業調整を容易に行える
環境面	鉄鉱石の還元時にCO <sub>2</sub> が発生	高炉法に比べCO <sub>2</sub> 排出量は約4分の1



# 中部鋼板の特色

国内唯一の電炉厚板専門メーカー



効率的なレイアウトで省エネ操業を実現する  
製鋼-圧延一貫工程

電炉の特性を活かした柔軟な生産形態で  
短納期・小ロット・多品種生産を実現

レーザ切断用鋼板、被削性改良鋼板などの  
オリジナル製品を開発

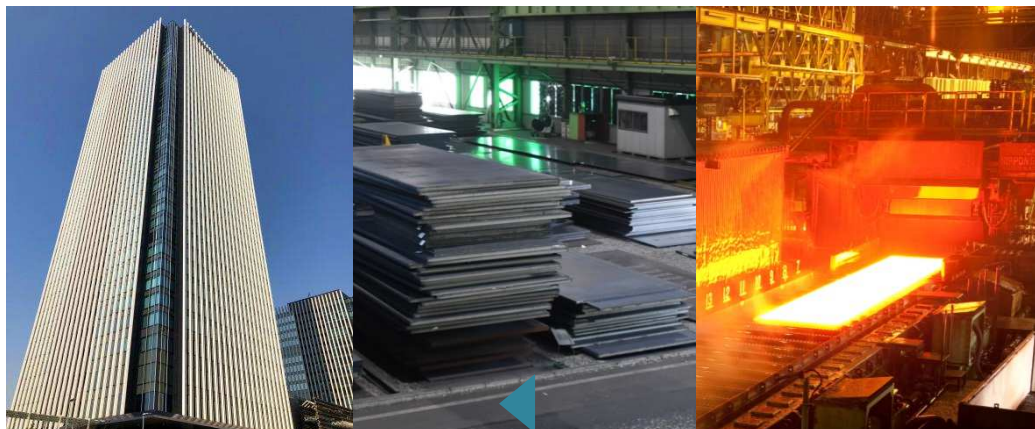
名古屋の市街地に立地する都市型製鉄所



国内有数の工業地帯に立地し、  
交通網・エネルギー供給などインフラも充実、  
原材料の調達、製品出荷に有利なポジション

積極的な環境対策投資の推進や  
敷地周辺の緑地整備、近隣住民との交流  
を通じて、地域社会と共生

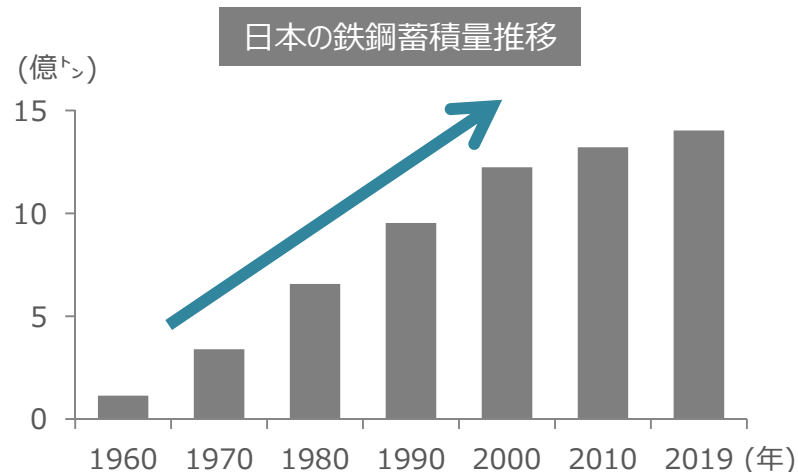
# 循環型社会への貢献



老朽化し解体された建造物などから発生する鉄スクラップは、当社の事業によって厚板として再生し、再び社会インフラを支えます

## 何度でも生まれ変わる資源 “鉄”

さまざまな形で国内に存在する“鉄”の累計蓄積量は約14億トンで現在も増加中



スクラップリサイクルによる鉄づくりは循環型社会の構築に貢献するサステナブルな事業です



製造工程の詳細・動画は当社HP[技術情報]へ

製鋼工程



圧延工程





# 3 成長戦略・サステナビリティ課題への取組み



# 21中期経営計画 概要

## 基本方針

- ✓ 循環型社会への貢献（スクラップリサイクル）
- ✓ 成長戦略の推進
- ✓ 持続可能な基盤整備の推進
- ✓ ESG／SDGs課題に対する取組の強化
- ✓ (株)中山製鋼所との業務提携の推進



数値目標	18中期目標	18～20年度実績	21中期目標
販売数量※	60万トン	61万トン(18年度)	<b>70万トン</b>
連結経常利益	40億円	47億円(19年度)	<b>40億円</b>
連結配当性向	25%	每期目標達成	<b>30%</b>

※18中期は厚板販売量、実績・21中期目標は鉄鋼製品販売量（含むスラブ）



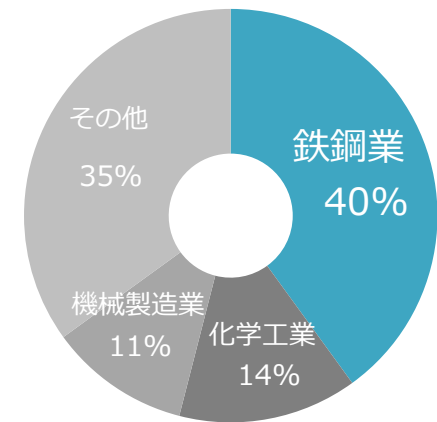
# 脱炭素社会へ向けた対応

**目標**

温室効果ガス排出量(日本)  
 2030年度 約46%減(2013年度比)  
 2050年度 実質排出ゼロ

**現状**

国内製造業のCO<sub>2</sub>排出量  
 鉄鋼業が4割を占め最多(右図)



産業部門のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(2019年度)

削減目標達成のためには  
 鉄鋼業での削減が不可欠

**国内鉄鋼業の現状**

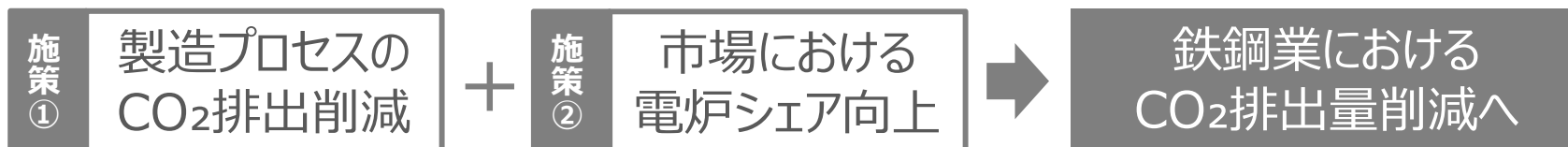
粗鋼生産量

● 高炉  
 ● 電炉

品種別

- 棒鋼
- 形鋼
- 薄板
- 厚板

- ✓粗鋼生産量の約4分の3を高炉が占める
- ✓電炉のCO<sub>2</sub>排出量は高炉の約4分の1
- ✓鋼板類における高炉比率が9割超と非常に高く、電炉比率の向上余地を残す



# 環境対応型高効率電気炉への更新

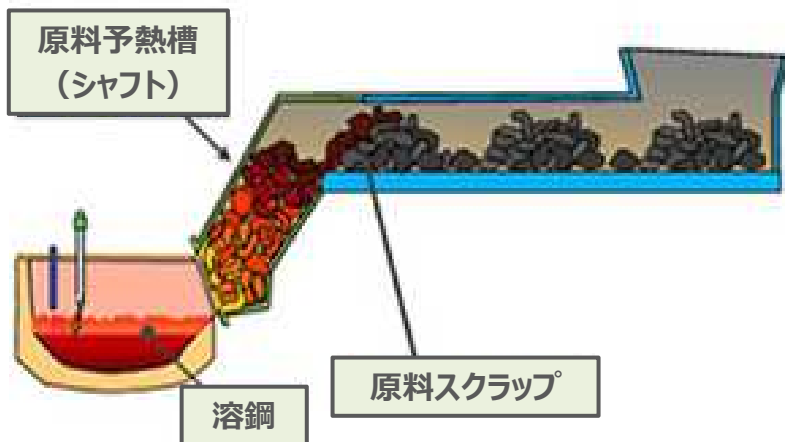
循環型社会への貢献、競争力の強化、都市型製鉄所として周辺環境に対する負荷低減を図るため、最新鋭の新電気炉導入を決定。(2023年秋稼働予定)



既設電気炉(1962年～稼働中)による操業の様子

## 新電気炉の特長

ECOARC-FIT™



既設電気炉比

電力原単位

▲15%

ダスト発生量

▲20%

騒音レベル

▲10%

生産性向上

+15%

- ✓ 溶解時の排熱を利用した鉄スクラップの予熱と連続装入によるエネルギーロス低減
- ✓ 生産性・歩留の向上による資源の有効活用とコスト競争力強化



# 厚板シェア拡大に向けた取り組み

## 新規顧客の開拓

- ✓ 建機・産機向け：ユーザー紐付き受注の取り込み
- ✓ 建築・土木向け：公共投資案件の獲得(グリーン調達)

## 顧客対応力の強化

- ✓ IT・DXを活用した顧客情報の一元管理と共有化による製販の連携強化
- ✓ 製造可能範囲の拡大と品質のさらなる改善

## 脱炭素・SDGsに対する取組みのPRによる認知度向上

- ✓ 官公庁・ゼネコン・エンドユーザーへの当社材PR活動



# 中山製鋼所との業務提携

## 製品・半製品の製造受託

- ✓ スラブ製造受託の拡大(年10万トン程度)
- ✓ 厚板製品の一部を新たに製造受託



## 電気炉更新計画への中山製鋼所の協力

- ✓ 建設中の円滑な事業遂行と委託数量拡大への協力

## カーボンニュートラルに向けた協働

- ✓ CO<sub>2</sub>排出量削減、電炉製造可能品種の拡大、資源リサイクルでの協働等、環境面での取組み強化

その他、輸送および購買での相互協力、グループ会社の商事部門の提携、両社製造部門による定例会議を通じた、鉄源連携を中心とした圧延や設備修繕など多岐にわたる提携を検討



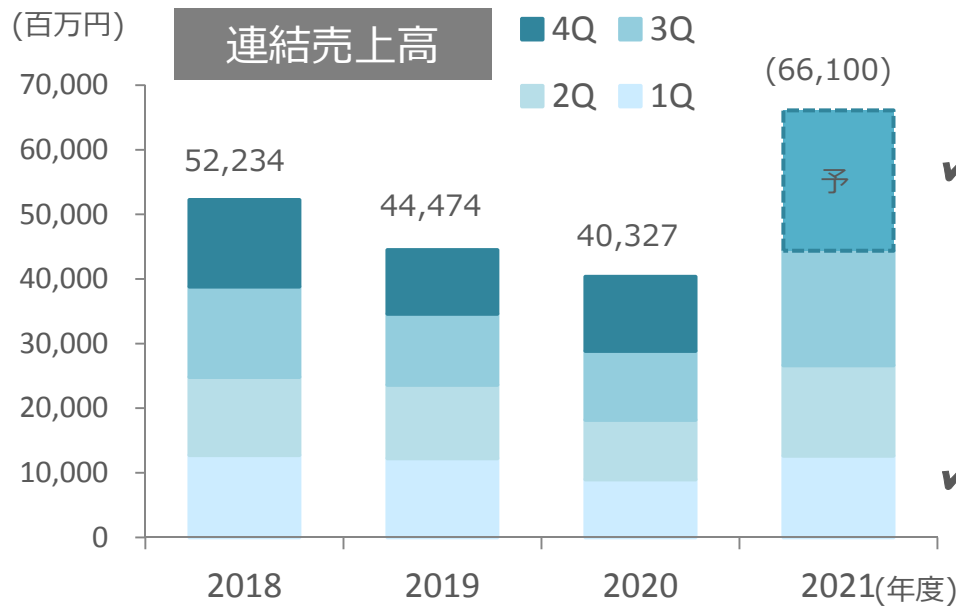


# 4

## 経営実績および業績見通し



# 連結経営実績推移と今期見通し

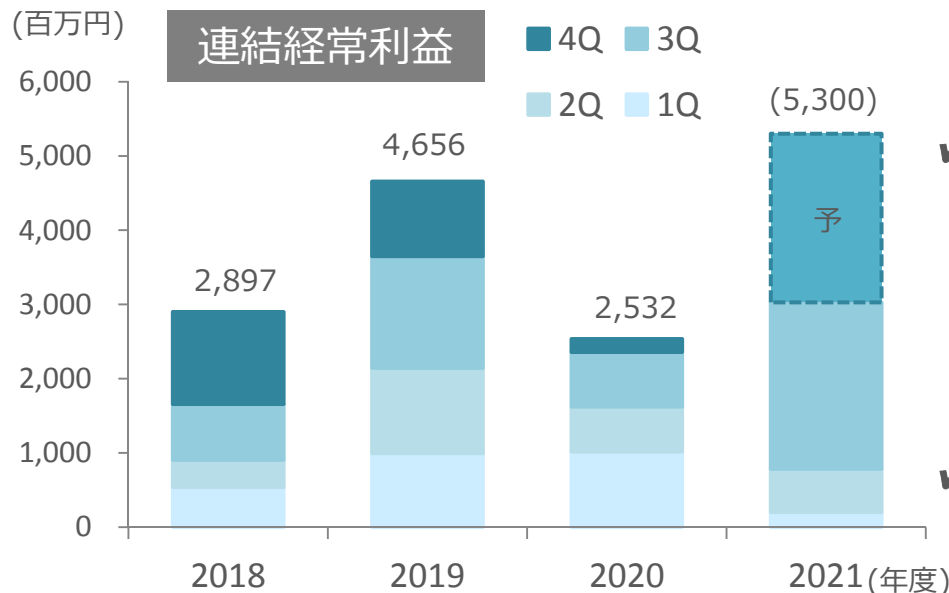


## 【1-3Q実績】

- ✓ 産業機械・建設機械向け需要および建築向け需要の回復により、厚板の販売数量・販売価格ともに前年同期を上回り、大幅な増収

## 【4Q見通し】

- ✓ 引き続き堅調な受注・出荷を見込む



## 【1-3Q実績】

- ✓ 鉄スクラップ価格の高止まり、エネルギー・諸資材価格の上昇によりコスト面では厳しい環境が続くも、販売価格の値上げが浸透したことで収益環境は大きく改善

## 【4Q見通し】

- ✓ 良好な収益環境が継続する見込み



## 2022年3月期通期業績見通し(連結)

(百万円)	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期見通し	前期比
売上高	40,327	66,100	— ※
営業利益	2,574	5,400	109.7%
経常利益	2,532	5,300	109.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,593	3,400	113.4%

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用し、当該基準等に基づいた予想となっております。このため、2021年3月期の実績値に対する増減率は売上高のみ記載しておりません。なお、当該基準等適用による売上高への影響は軽微であります。



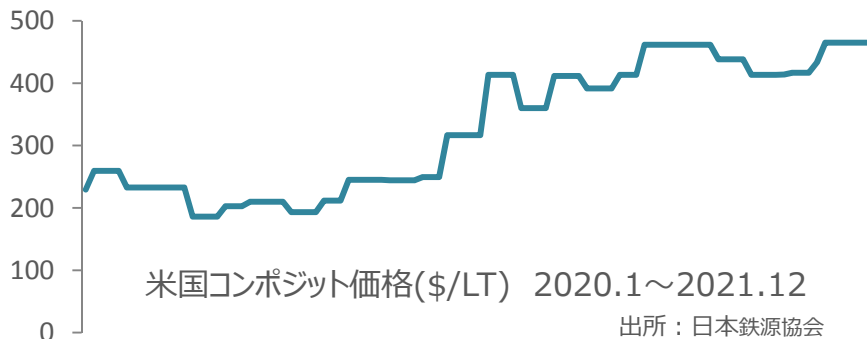
# マーケット環境・今後の見通し

## 国際経済

新型コロナ変異株の感染拡大やサプライチェーンの混乱による原材料価格の高騰、米中貿易摩擦、中国経済の成長鈍化などのリスク要因がコロナ禍からの回復シナリオに悪影響をおよぼす可能性がある

## 鉄スクラップ市況

前期中の急騰から高値圏での推移が続いており、一時的な調整局面はあるものの、今後も鉄鋼需要の回復と脱炭素社会に向けた鉄スクラップ需要の高まりから、大幅な値下がりには考えにくく、高値での推移が見込まれる



## 当社材需要先の動向

### 【産機・建機】

回復傾向が継続し堅調な需要を見込むが、半導体供給不足が長期化した場合、回復基調に水を差すことも懸念される

### 【建築・土木】

建築向けは物流倉庫・工場・商業施設などの非住宅向け需要が好調、土木向けは国土強靱化関連予算額の増加などから堅調な需要が見込まれる

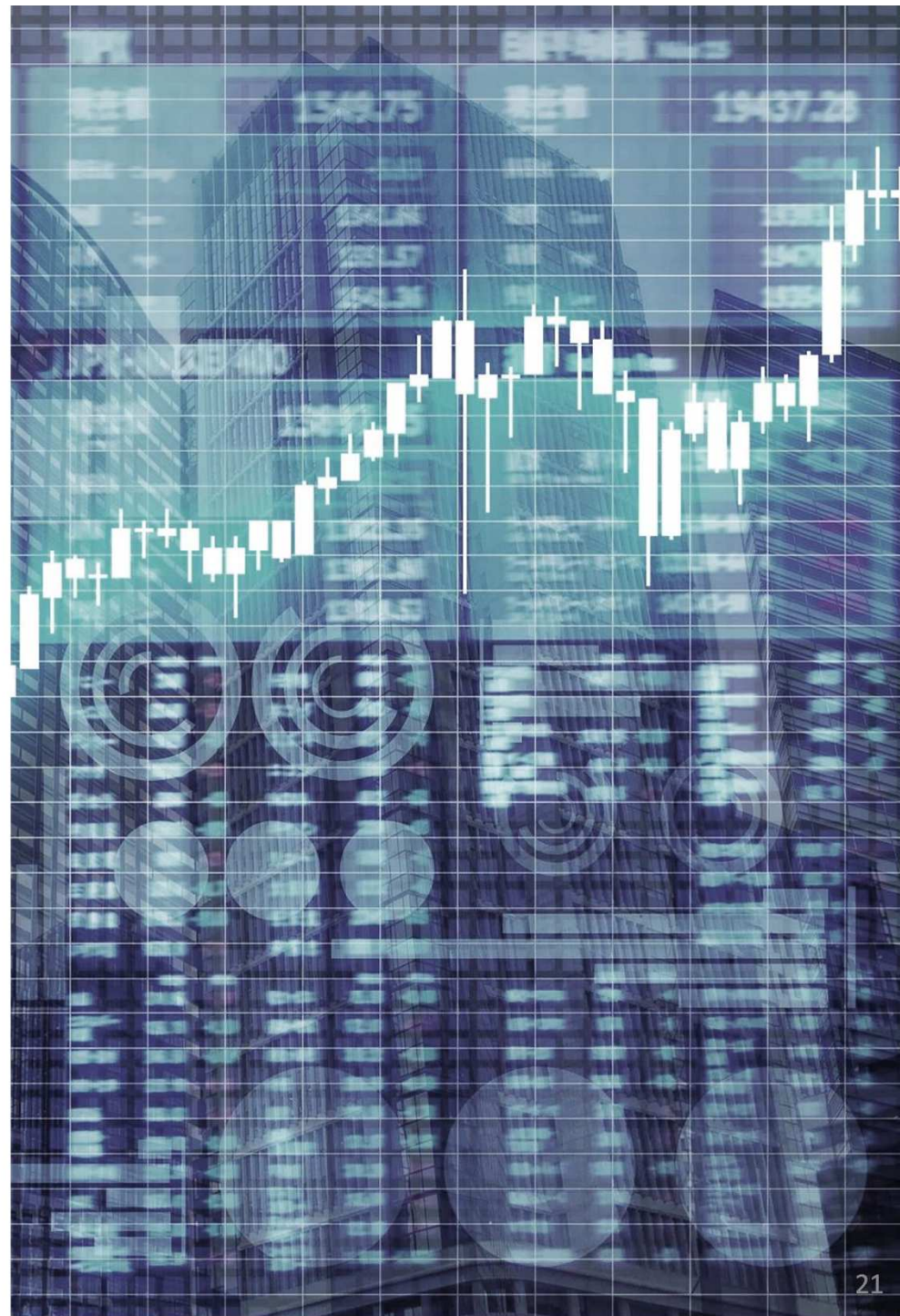
## 諸資材価格・エネルギーコスト

合金鉄などの諸資材は鉄鋼生産の回復による需要増加などによる価格上昇傾向が継続する見通し

電力・LNG等のエネルギーコストも原油価格の高騰や経済活動の回復による需要増により上昇傾向が見込まれる



# 5 株式情報



# 株主還元

## 配当方針

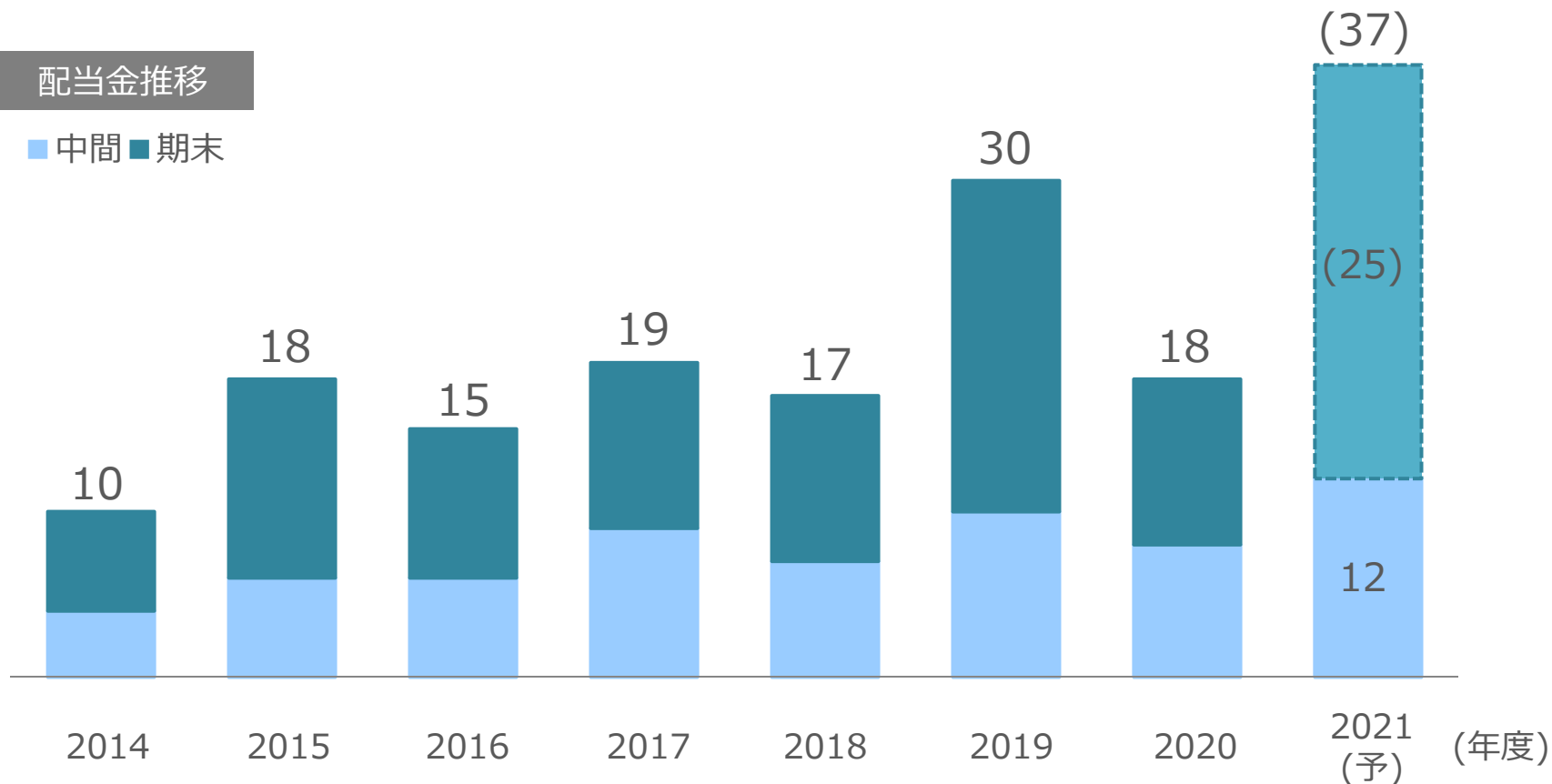
- ✓ 安定配当の継続
- ✓ 業績に見合った弾力的な配当の実施

## 配当性向

- ✓ 30%以上(21中期目標値)

### 配当金推移

■ 中間 ■ 期末



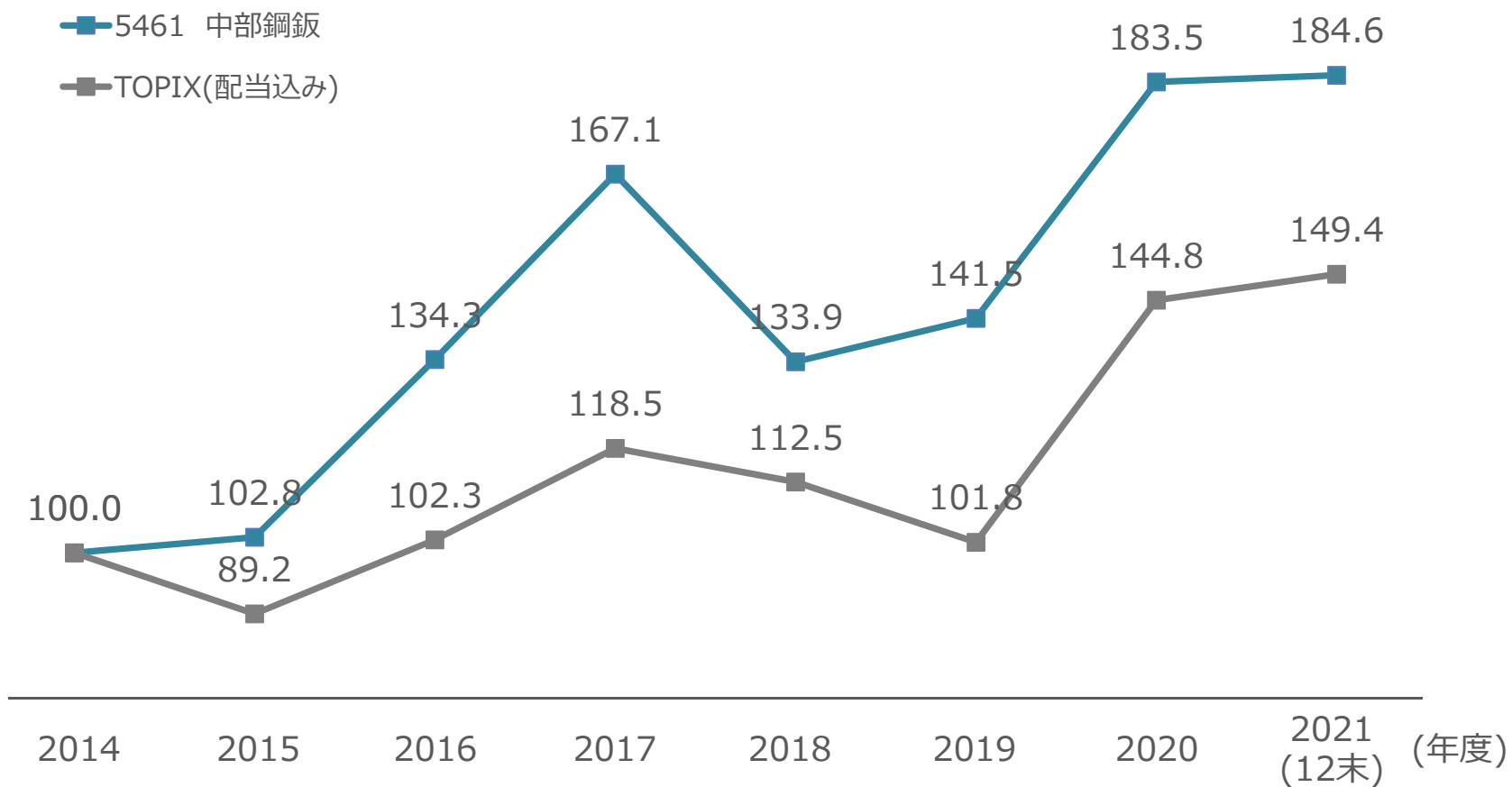
連結配当  
性向(%)

2014	20.5	19.0	20.8	22.6	27.4	30.1	31.2	(30.0)
------	------	------	------	------	------	------	------	--------

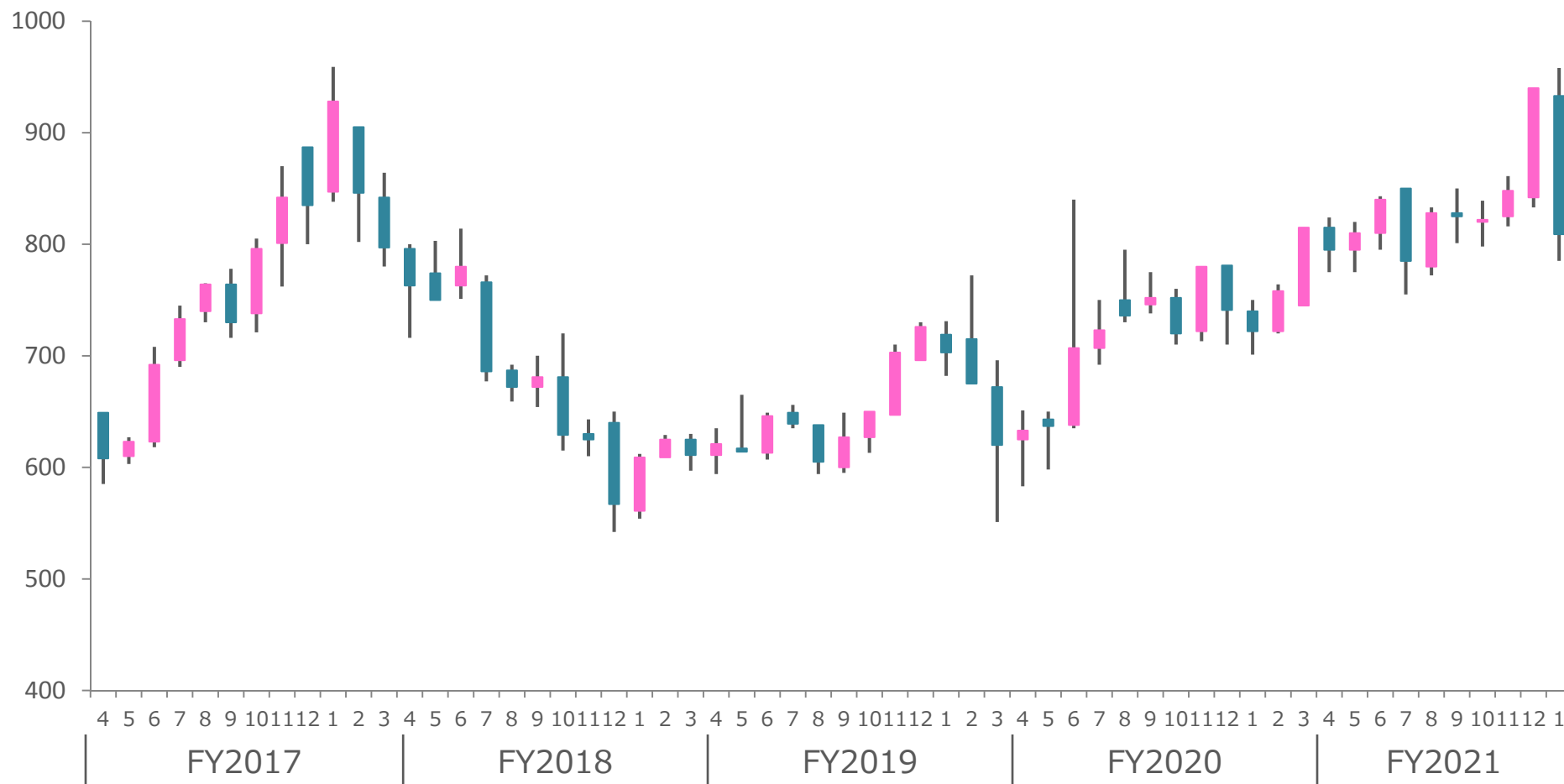


# 株主総利回り(TSR)

株主総利回り (%)  
基準日：2014年度末 比較指標：配当込みTOPIX  
※2021年のみ12月末時点で計算



# 株価の推移



株価 (2/10終値)	最低購入金額	2022年3月期 通期配当予想	予想配当利回り
817円	81,700円	37円	4.53%





あついい心で未来をつくります

<https://www.chubukohan.co.jp>

中部鋼鉄

検索



## 本資料お取扱上のご注意

本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会の時点で入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

